

## いつまでもお元気で

久保カメヨさんが満100歳に



ご家族の久保秀子さん（右）と仲良く記念撮影

3月28日に、久保カメヨさん（邑久町福元）が満100歳を迎えました。3月25日、谷田孝史保健福祉部参与や原裕康備前県民局健康福祉課班長らがお祝いに入院している藤原整形外科を訪問。職員や家族の皆さんに見守られながら、お祝い状などを手渡されると、久保さんは「すまんことです」と照れながら喜びを語っていました。

夭逝した兄弟たちを思い、亀のように長生きができるようにと付けられた「カメヨ」という名前。久保さん、これからも元気で過ごしてください。

## 郷土の味を伝える

瀬戸内地域の食と交流シンポジウム



瀬戸内地域の郷土料理を試食する参加者の皆さん

3月4日、ゆめトピア長船で、郷土料理研究者や市民などが参加して、瀬戸内地域の食と交流シンポジウムが開催されました。瀬戸内地域の豊かな食文化を通し、新しい食や地域の活性化につなげようと中国四国農政局が企画したものです。

料理研究者の枝元なほみさんが「地元の食にプライドを！」をテーマに基調講演を行ったあと、参加者たちは、牛窓の郷土料理「水夫のじゃぶじゃぶ」を試食。地元食材の新たな魅力を発見することができたようです。

## 農業の新しい可能性を目指す

農漁業に就業した青年を激励



武久頭也市長と農業の将来について語り合う山本さん（左）

3月2日、市役所で農漁業に就業した青年に市と岡山県農林漁業担い手育成財団から就業奨励金が交付され、地域産業の中核者となるよう激励しました。対象となったのは、農業者1名と漁業者1名の就業者です。

このうち、邑久町で米麦の栽培を行う山本千明さんは「世界に目を向けた農業と、地域社会と深く結びついていた従来の農業の復興を両立したい」と抱負を語りました。瀬戸内市の農漁業を担っていく若者に大きな期待が寄せられます。



## 今月の表紙

3月28日に邑久吹奏楽団による定期演奏会が開催され、吹奏楽オリジナル曲やジャズなど多彩な曲目を演奏しました。また、人気グループ嵐のメドレーやマイケル・ジャクソンの「スリラー」などのヒット曲を、瀬戸内市の女の子が東京でスターを目指して奮闘する姿を描いた寸劇を交えて披露。観客は、笑いと感動に包まれた時間を過ごしました。

## 山火事に備えて

瀬戸内市消防団が林野火災合同訓練を実施

林道山手線、山手支線（邑久町山手）で3月21日、瀬戸内市消防団や消防署員など約200人が参加して、林野火災合同訓練を実施しました。

岩屋山展望台付近の山林から出火、約3haに延焼しているとの想定で行われたこの日の訓練。団員たちは、ふもとの防火水槽と林道にある池に水利を確保し、ポンプ車、可搬ポンプをつなげ、山頂へと送水を行いました。林野火災では、各分団の連携が最も重要です。さまざまなトラブルが起きましたが、貴重な経験になったようです。



機敏な動きで池からの給水を行う団員たち

## 阪神大震災を忘れずに！

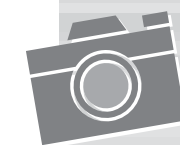
瀬戸内市少年婦人防火委員会研修会を開催



東田さんの話を熱心に聞く参加者の皆さん

3月18日に消防本部で、防火クラブ員や事業所の自衛消防関係者の皆さんを対象に防災研修会を実施しました。講師には、神戸市の「人と防災未来センター」で語り部ボランティアを行っている東田せつ子さんを招き、阪神淡路大震災での体験談や地震に対する事前準備、地域の繋がりの大切さなどを学びました。

今後発生が予想される東南海・南海地震。市民の皆さんも耐震補強や非常持出し品の準備を行うとともに、地域の共同活動などにご参加ください。



# まちの 話題

